

伝統と未来が出会う夏

# 甲州印伝を 体験する

動物の革に漆で文様をつける技術の歴史は古く、正倉院には聖武天皇が履いた牛革を赤く染めた靴が納められています。

## 7.25(土)

戦国時代には、その丈夫さから武将たちの鎧や兜のパーツに使われ、江戸時代には「印伝」と呼ばれるようになり煙草入れや印籠、巾着など、粋な江戸っ子に愛されました。

講師

山本 裕輔さん

伝統工芸士

印傳の山本 代表取締役社長

現在「甲州印伝」は山梨県を代表する伝統工芸品で、今回は甲州印伝のキーホルダーを作ります。伝統工芸士である講師が、印伝の模様付けから教えてくれる貴重な機会です！

- 時間：午前10時から／午後2時から ●定員：各回10名（小学生以上※）
- 参加費：一人一回2,000円（当日現金でお支払いください）
- 参加方法：お電話（8:30～17:00）・メール・申し込みフォームで受け付けます

※小学生のお子様体験する場合は、必ず保護者が付き添ってください。



7月1日(水)からお申し込みを受け付けます

お申し込み・お問い合わせ

甲府市武田氏館跡歴史館（信玄ミュージアム）

400-0015 山梨県甲府市大手3-1-14

TEL 055-269-5030 FAX 055-269-5031

shingen-m@yamanashi-bunka.or.jp ※休館日 毎週火曜日※



みなさまのフォロー、お待ちしております。